

西宮市の学校給食の歴史③

- 平成22年（2010年）学校給食実施基準の改正に伴い、パンの小麦粉及び米飯の米を5gずつ増量。
- 平成23年（2011年）食中毒（疑い）マニュアルを作成。
学校給食における食物アレルギー対応マニュアル一部改正。
- 平成24年（2012年）食物アレルギー対応の一環として、使用日別加工食品一覧表を作成。
- 平成25年（2013年）学校給食費が公会計となる。
- 平成26年（2014年）食物アレルギー対応の一環として、統一献立チェック表の運用開始。
- 平成28年（2016年）兵庫県産小麦粉を使用したパンを月に1回提供。

兵庫県産小麦60%以上
使用、残りは北海道産小麦

●平成29年（2017年）兵庫県産小麦粉使用のパンの提供を月2回に増加

●平成30年（2018年）災害警報発令が予測される際の備蓄食導入に

についての検討を開始。

令和

●令和2年（2020年3月）新型コロナウイルス感染症対策として文部科学

省よりの一斉臨時休業要請で3月3日から全校臨時休業となり学校

給食の提供も停止した。

●令和2年（2020年）6月15日より新しい生活様式を考慮して給食再開

配膳過程での感染防止のため、おかずを1品減らした献立による給食

を提供（～7月20日）、2学期より通常献立による給食を再開。

すべてのパンを兵庫県産小麦粉使用のものとする。

給食に備蓄献立を導入。